

# 地域の資源と人材をつなげて子ども 学校、家庭、地域でトータル

## 「こんなにお金を稼ぐのが 大変なのかと感じた!」

-中学生の商業体験-「Summer Store-School」

8月18日から8月30日に新宿区の大久保と百人町の商店街で地域の新宿区立戸山中学、大久保中学の中学生が商業体験をする「Summer Store-School」(略称SSS)が実施され、100人を超える中学生が参加しました。この「SSS」は、二つの中学校のPTAが主催し、新宿百人町明るい会商店街と新大久保商店街の全面的な協力によって行われているもので今年で5年目を迎えます。

体験先になっている商店は新宿区の明治通りから小滝橋通りの間の大久保通りにある31の店舗です。飲食店、薬局、自転車屋さん、ホテル、花屋さん、とその業種は多種多様です。体験日数は一人2~3日間で体験時間は1日3時間~5時間ほど。お客様との接し方や、お店の裏方の準備、販売等の実際の仕事を、中学生ができる範囲で体験します。

たった2~3日であっても、全くの素人である中学生を受け入れることは並大抵のことではありません。それを可能にしているのは「地域で子どもを育てたい」として、「毎日何気なく通っている商店街にいろんな店があり、様々な人々が暮らしていることを知って欲しい」という商店街の人々の思いです。

### 体験した中学生からは

「初めての体験でお店ただモノを売るだけでないことが判った」

「こんなにお金を稼ぐのが大変なのかと感じた」

「協力することの大切さを教えてもらった」

「地域の人たちとふれあえてよかった」

「大きな声で「いらっしゃいませ」と言うのが大変だった」

### といった感想が聞かれました。

送り出した親からは「子どもを見守る勇気を得られた」、「未っ子のはじめての仕事をするので、家族全員で仕事について話し合えた」、「親の知らないところでしっかりしていると感じた」といった声が寄せられており、アンケートによると、この体験に参加した子どもたちの半数以上の家庭で体験がきっかけになって仕事のことや将来のこと、住んでいる地域のことが話し合われているそうです。



## 「SSS」の3つの柱

### いろいろな体験を通じてふれ合い の中から学ぼう

体験を通じていろいろな場面に直面し自分自身で考え工夫して行動することにより、仕事のやりがい、達成感・成就感を得ることができる。そして実際に仕事を体験することで社会の枠組みの体験をし、自分自身の存在を意識できる。また、勤労の大切さを実感し学ぶことができる。

### コミュニケーションを深めよう

地域の「おとな」と触れ合うことにより、人との接し方を学び、また普段とは全く違った環境の中で他人とのコミュニケーションをとることの難しさを経験し、その大切さを感じ取ることができる。また、家庭ではSSSをきっかけに親子のコミュニケーションが深まる。

### 地域で子どもを育てよう

地元商店街で体験することにより、子どもたちは地域をより身近に感じる事ができ、また商店側は、子どもたちを受け入れ、ともに行動することにより親近感を深めることができる

## 地域の資源と人材を活かす~ 区内の企業・団体との連携事業

SSS以外にも新宿区教育委員会では「連携事業」として、様々な団体や企業と協働し、子どもたちの体験活動がより充実するよう取組をしています。

次世代を担う子どもたちのために、団体・企業の人材やノウハウを提供したいという「思い」がありながら、それを具体化する手法や機会がない、という状況があります。その「思い」を実現するために教育委員会としてプログラムの助言・関与、あるいは学校への仲介や募集などを行っています。

### (1)ベンチャーキッズフォーラム(中学生起業家体験)

子どもたちの創意工夫・仲間との協力・チャレンジ精神を養うことをめざして(社)東京青年会議所新宿区委員会と連携した事業です。中学生が仲間と出資金を出し合い、一つの「会社」を設立、商品コンセプトなどの企画書を作成、審査による融資も受け、仕入れ・製作・実際の店頭での販売という起業体験をします。指導は青年会議所スタッフがを行い、終了後は結果を分析・検証します。子どもたちの反響が大きく、今では中学校内でのイベントで実施されるなど、広がりを見せています。